

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて抗原検査を受けましょう

ムリのある予算付けで伸び悩み

松戸市では、新型コロナウイルスに感染しているか否かを確認するための抗原検査費用の助成を行っています。金額は、かかる費用のうち5,000円を支給するもので、対象は、●市内在住の65歳以上の方、●高齢者が入所・入居する市内の施設で働く方、になります。

この抗原検査への助成は、R2年8月に行った補正予算に盛り込まれた施策です。感染確認のための方策としては、他にもPCR検査や抗体検査もあります。そして、それらをバランス良く組み合わせながら実施し、全体の結果を分析することによって、感染経路が浮かび上がり、今後の対策の検討に役立つ生きたデータ収集にもつながるのです。しかし、なぜか市は、抗原検査だけを補正予算に組み込んできました。一部では、「全国の市町村



で初めて抗原検査を行った」というパフォーマンスにこだわったのではないかともしやかれています。それはともかく、いずれにせよ、市民への情報提供が十分になされていないこともあって、現時点で抗原検査の申し込み数は伸び悩んでおり、コロナ対策としての効果を上げているとは評価しがたい状況です。

まだ予断を許さないコロナ拡大

広がりや欠いている市の抗原検査への費用助成ですが、抗原検査に全く意味がないかといえば、そうではありません。指摘されている問題点としては、PCR検査の結果と比べて、偽陰性の割合が高いことなどがあげられます。確かに、精度に課題はないわけではありませんが、とは言え、市が想定し、期待する2万人の方々が抗原検査を受けてくだされば、そこからさまざまな政策効果が生まれるのです。そのうち、微熱が生じたときに抱く、「もしかしてコロナに感染したのでは？」という不安の解消や、どのようにコロナウイルスが拡大しているかという経路の想定につながる点は、社会的な意義があります。

コロナウイルスの実行再生産値は10月24日現在も1.02（東洋経済オンライン）となっており、わずかながらも拡大傾向を示しています。

この数値は、1を下回ると終息に向かっていると考えられ、反対に、上回るとまだ感染拡大にあることを表しています。予断を許さない状況にあって、抗原検査をぜひ多くの方に受けていただけることを望みます。



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部

HPもご覧ください！ **みのわ信矢** 検索

連絡先 松戸市金ヶ作418-94